2021 年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：2022 年 4 月 14 日
● 事　業　名　：支援付き住宅の複合モデル「プラザ抱樸」の拡充と整備事業
● 資金分配団体　：公益財団法人パブリックリソース財団
● 実 行 団 体　：特定非営利活動法人抱樸
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☐有　☑無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
空き家活用型の日常生活支援住居施設が開設され、入居者が定員に達する。	入居者数	日常生活支援住居施設　20 名	2023 年 3 月	日常生活支援住居施設 19 名	2
マンション全体でフォーマルとインフォーマルな住居、支援の提供が行えることにより、社会的に阻害されてきた人たちに生活する場と、自己実現できる場が提供できる。	支援付き住宅入居者数 グループホーム等入居者数	支援付き住宅　60 名 グループホーム等　20 名	2023 年 3 月	支援付き住宅　54 名 グループホーム　12 名	2

プラザ抱樸が、地域住民と入居者との交流の場を提供することにより、地域コミュニティーの活性化を醸成することができる。	交流サロン利用者数	交流サロン利用者数　1 回平均 60 名	2023 年 3 月	年度内に 4 回開催を予定していたが、緊急事態宣言等により、中止。	3
支援付き住宅を中心とした複合型施設の運営について、責任をもって実施できる人材を養成することができる。	責任者数	プラザ抱樸責任者 1 名 日常生活支援住居施設長　1 名 グループホーム管理者　1 名	2023 年 3 月	プラザ抱樸担当者　2 名 日常生活支援住居施設長　1 名 グループホーム管理者 1 名	2
社会資源としての空き家問題解決のモデルとして、収益構造および継続的事業展開の実績を提案することができる。	毎月締め報告、年度決算報告	全ての事業の純益が 500 万円を超える。	2023 年 3 月	2021 年度に関しては、借入返済などを差し引いた純益はマイナス 330万円程度の見込み。これは、7 月購入に伴う、不動産取得税や購入前のサブリース家賃支払いなど、初年度のみの特別経費が約 1,700 万円発生したことと、6 月より日住を開始したことによる収入	

				減と支出(支援員経費)の差によるものである。次年度以降は年間500 万円程度の純益が見込まれる。	

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☑変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　☐短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
日常生活支援住居施設(以下日住)20 室の 2021 年 6 月開始に向けて、2020 年度より、北九州市担当部局と打ち合わせを実施した。 2021 年 5 月 6 日に無料低額宿泊所(以下無低)及び日住の申請を行った。 同日、日住施設長を配置。5 月 10 日に日住支援員を配置した。支援付き住宅担当支援員 1 名を配置した。 6 月より、日住開始。見守り支援付住宅より、10 名が日住に移行した。 7 月 30 日にオーナーとの売買契約を行い、全棟購入した。 10 月より、事業評価のための学識経験者との検討・協議を開始した。(10 月～2 月)

11 月より、支援付き住宅担当支援員 1 名を配置した。(計 2 名配置)
11 月 10 日、北九州市による無低及び日住の実地調査あり。特に大きな問題の指摘は無かった。

プラザ抱樸及び居住支援に係る部署の法人内部研修を 10 回実施。(5 月～1 月)

外部研修への参加 5 回。(7 月全国日常生活支援住居施設協議会研修、9 月全国居住支援法人協議会研修、11 月生活困窮者自立支援全国研究交流大会、12 月・1 月日常生活支援住居施設管理者等資質向上研修、2 月福岡県困窮者支援ネットワーク研修)

2022 年 3 月末時点、日住入居者 19 名(利用延べ人数 25 名)、グループホーム 12 名、支援付き住宅 54 名。その他一般入居者 11 名。
※日住利用者のうち、6 名が北九州市外からの受け入れだった。

視察、取材等 24 回。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

入居者との面談は、なるべく短時間とし、訪問の際も距離を取るなどの感染対策を心掛けた。
2022 年 1 月に本体事業職員が感染し、同じ事務所を使用していたため、結果、事務所内 4 名中 2 名が感染し、他部署からの応援で支援体制を維持した(1/20～1/31)。入居者への感染は無かった。2022 年 3 月より、感染対策も含め、事務所を広いサロン用空き部屋へ移転した。

② 広報に関する報告

1. シンボルマークの使用状況

☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している
☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☑その他
→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：建物に掲示

2. 広報

1.　メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

（1）北九州市　SDGs 大賞

2021 北九州 SDGs 未来都市アワードの受賞者の決定及び授賞式について

https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/00300326.html

（2）西日本新聞

NPO 法人抱樸が「2021 北九州 SDGs 未来都市アワード」の大賞（市民部門）を受賞！「空き物件を活用した支援付き住宅事業」モデルの一層の拡大を。2022 年 3 月 3 日

https://www.nishinippon.co.jp/item/o/898178/

（3）週刊　高齢者住宅新聞

空室転用、見守り支援　2021 年 7 月 15 日

https://www.koureisha-jutaku.com/newspaper/synthesis/20210623_01_1/

（4）Sirabee 編集部

子供の貧困を食い止めるために　様々なアプローチで挑む日本全国のキーパーソン■空室マンションを転用して、見守り支援付き住居を提供（福岡県北九州市）　2022 年 3 月 9 日

https://sirabee.com/2022/03/09/20162812820/

2.広報制作物等

プラザ抱樸入居募集チラシ(見守り支援付き住宅、グループホーム、日常生活支援住居施設)

3.報告書等

なし 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） なし

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。

☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☐はい　　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：必要に応じて開催する。
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　☐外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

4月
【お ね が い】
夜中(22:00 以降)は
テレビの音量を小さくするように
お願いします。
2022/03/18 10:25:00